

令和2年度 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修

PG13 オリエンテーション

(PG14～PG16の導入)

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部

障害福祉課 地域生活支援推進室

国立障害者リハビリテーションセンター

令和2年度研修の位置付け・獲得目標

- 【背景・動向】サービス管理責任者等の質の向上のため、サービス管理責任者等研修事業について制度の改定を実施(平成31年厚生労働省告示第109号・110号)。
- 従来、サービス分野別としていた研修を全分野共通とし、基礎・実践・更新の各研修を階層(段階)的に位置付け、実地教育を取り入れた(主目的は質の維持・向上)。

都道府県においては、令和元年度から新カリキュラムによる研修を段階的に実施

- 今年度研修は、平成29年度からの内容に引き続き、**各都道府県による研修事業が新制度へ円滑に移行するための研修**と位置付け、以下の内容を中心に実施。
 - ① サービス管理責任者等養成研修カリキュラム改定に関する情報提供
 - ② 標準カリキュラムのうち、実践研修、専門コース別研修（意思決定支援）に関する伝達
 - ③ 都道府県における企画立案・実施上の課題抽出・共有や具体的な準備に向けた情報交換（演習）の実施。

※専門コース別研修（意思決定支援）は相談支援専門員と共通のプログラムとなるため、サービス管理責任者等研修部分と専門コース別研修部分に大別したプログラム内容とする。

令和2年度の本研修の構成と内容

※番号(PGxx)はプログラム番号をあらわす。

【1】研修制度について、研修の企画立案について

サビ児管

専門コース

PG01～PG04 (事前学習)

○ 全員が受講する。

【2】サビ児管実践研修について

サビ児管

PG05～PG12 (事前学習) PG13～PG16 (リアルタイム研修)

○ サビ児管理の指導者、自治体職員が受講する。

【3】専門コース別研修（意思決定支援）について

専門コース

PG17～PG19 (事前学習) PG20～PG25 (リアルタイム研修)

○ 専門コース別研修（意思決定支援）の指導者、自治体職員が受講する。

※リアルタイム研修（Zoom）について

○ Zoomの仕様から、同時接続できるのは各都道府県2名までです。

想定される都道府県での実施上の課題（例）

【1】運営等の課題 → 都道府県職員向けプログラムを実施

- 日程・会場の確保、日程の振り分け
- 定員の想定、複数日程で実施する場合の参加者の振り分け
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況と今後の見通し

【2】企画等の課題

- 教材(講義資料、演習ツール、演習モデル事例等)の作成
→ 教材例や作成のポイントを伝達【特に更新研修】
- 講義・演習の展開方法
→ 昨年度の振り返りを実施し、具体的方法を協議【基礎研修】
→ 具体的な実施方法の体験的理解、指導案等の提供【更新研修】
- 新カリキュラムでの実施に向けた準備(協議)方法
- リーダー不在
- 講義講師、演習講師(ファシリテータ)の不足
- 演習講師(ファシリテータ)の養成、研修内容の伝達
→ 企画運営に関する演習の実施

PG14 事前課題

運営、事業実施に関すること

都道府県名

自都道府県で課題ととらえていること
この研修で他の都道府県と情報交換したいこと

具体的に記入する

全体

基礎
更新

コ
ロ
ナ
対
応

実践

PG15 事前課題

研修の内容に関すること

都道府県名

自都道府県で課題ととらえていること
この研修で他の都道府県と情報交換したいこと

具体的に記入する

全体

基礎
更新

コ
ロ
ナ
対
応

実践